

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小1-2

算数

時計のよみかた

オクリンクプラス

授業  
内容

とけいをよんだり、とけいのはりをあわせたりしよう

準備：

- ・共有コードを使用してカード（背景が白色の時計カード、4種類の時計の針カード）を取得する。
- ・準備したカードから、背景が白色の時計カード1枚を子供たちのマイボードに送信する。

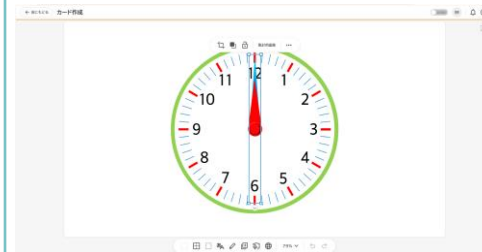
授業の流れ：

1. 先生が、4種類の【時計の針(○時～○時)○○きざみ】などの連結した提示用カードを使って、時間の経過とともに時計の針がどう動いていくかを子供たちと確認する。
2. 先生が、背景が白色の時計カードを使って、ツールの時計の針の動かし方を子供たちと一緒に確認する。
3. 先生は、長針と短針を動かして時刻を指定し、「何時何分ですか」と何度か問い、子供は声に出して答える。
4. 子供は、各自でマイボードに送られた白色の時計のカードを開く。
5. 先生が、「○時○分になるように、時計の針を動かしましょう」と何度か問い、子供たちはカードの長針と短針を自分で動かして合わせ、設問ごとに提出BOXへ送る。
6. 先生が提出BOXを一覧表示し、全員の結果を確認しながら答え合わせをする。

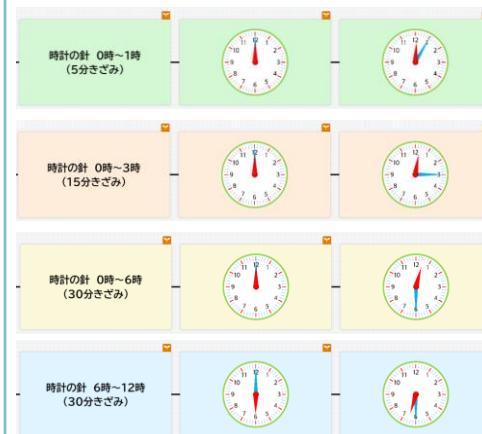
サポート  
おすすめ  
ポイント

- ・時計の針が進んでいく様子をカードにまとめているので、カードを送りながらゆっくり見せたり、途中でカードに書き込んだりもでき、理解度に合わせてご使用いただけます。
- ・子供たちは、長針と短針の動きを確認した後、自分自身で針を動かして指定された時刻に針を合わせる練習ができます。さらに他の人が動かした結果を参照したり、比較したりすることで、時計の読み方を定着させることができます。

カードの操作



4種類のカードの一部



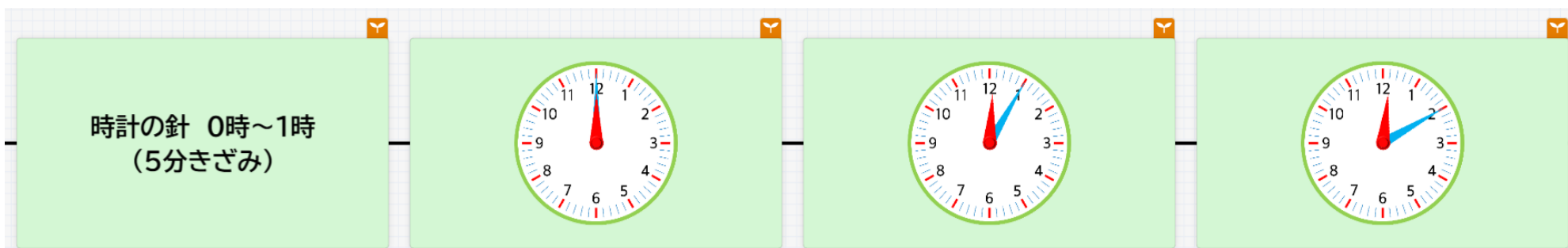
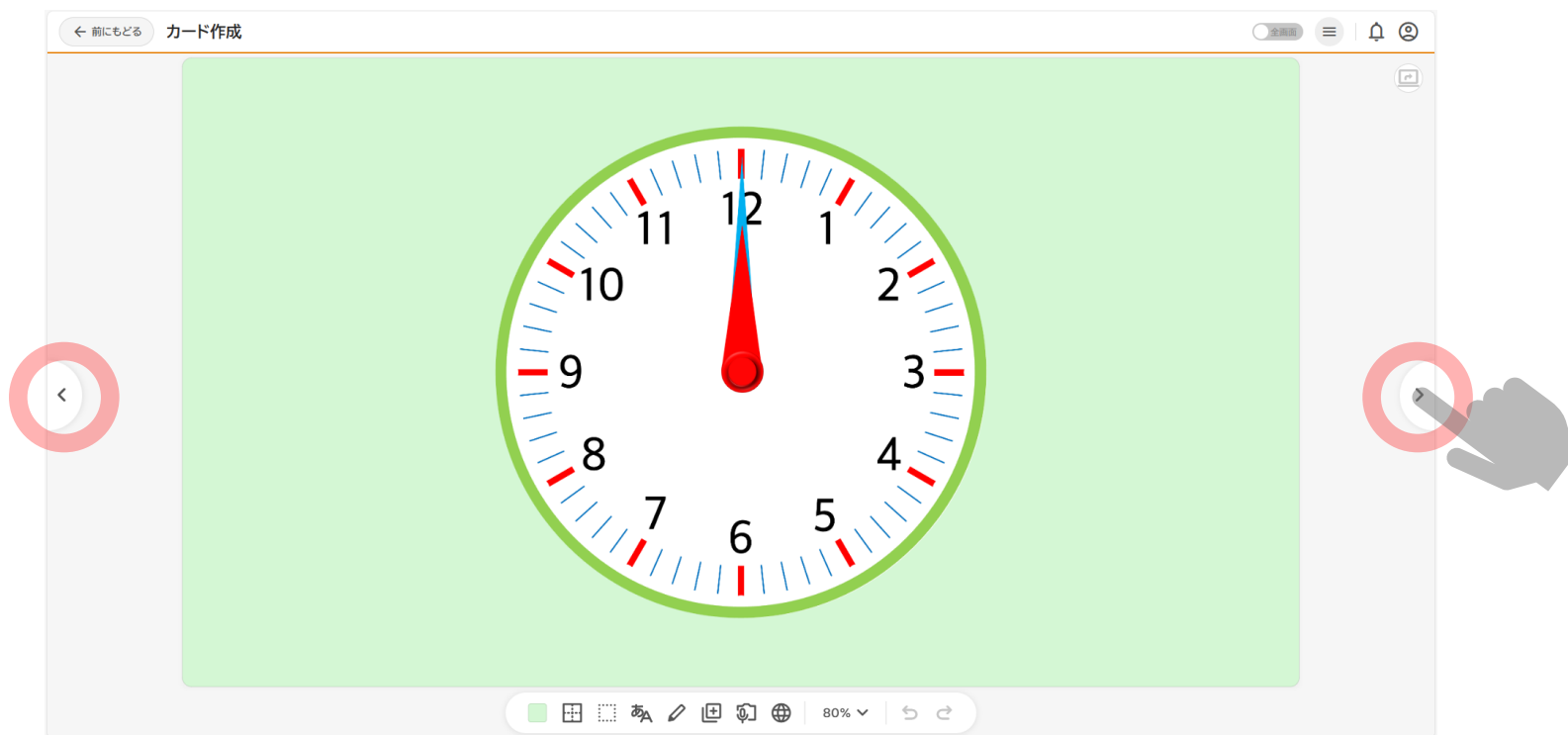
共有コード

共有コードを入力、または  
カメラを起動して  
二次元コードを読み込む

pb01KWE0646M3K8ACEGZKVR3JE4

# 操作説明 1 つながったカードの連続表示の方法

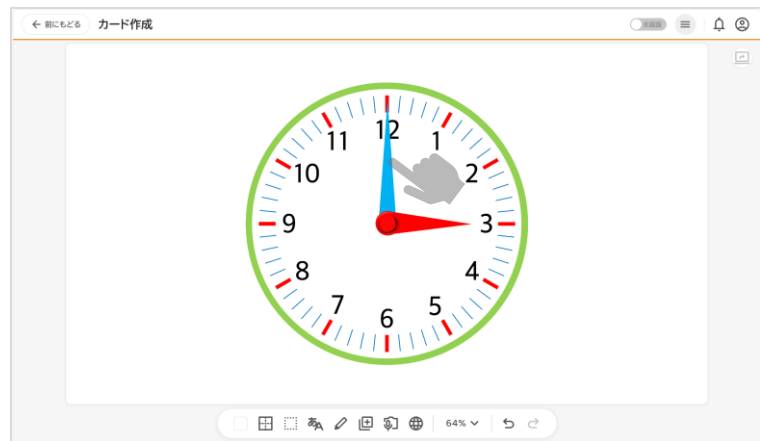
1. カードをタップして左右に出ている「<」で戻したり、「>」で進めます。



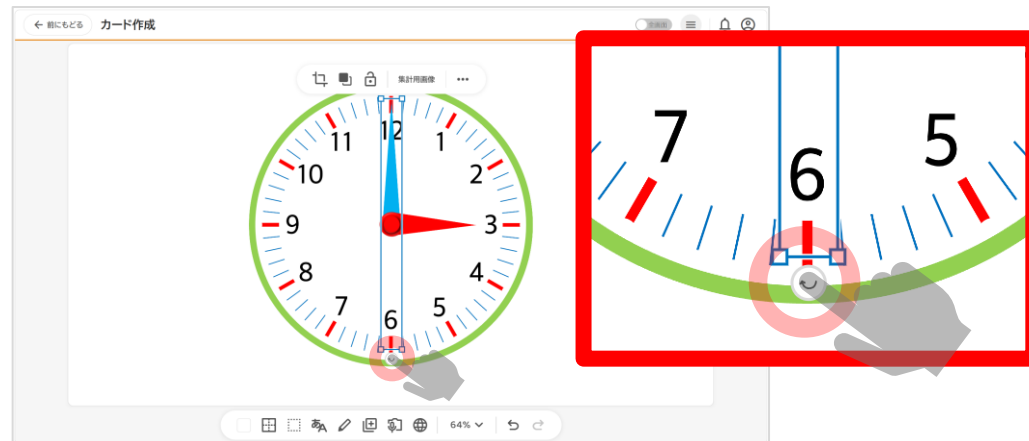
注意：カードの順番が入れ替わると正しい針の動き方にならないので、前後が誤って入れ替わった場合は戻してください。

# 操作説明 2 時計カードの「針の図形」の動かし方

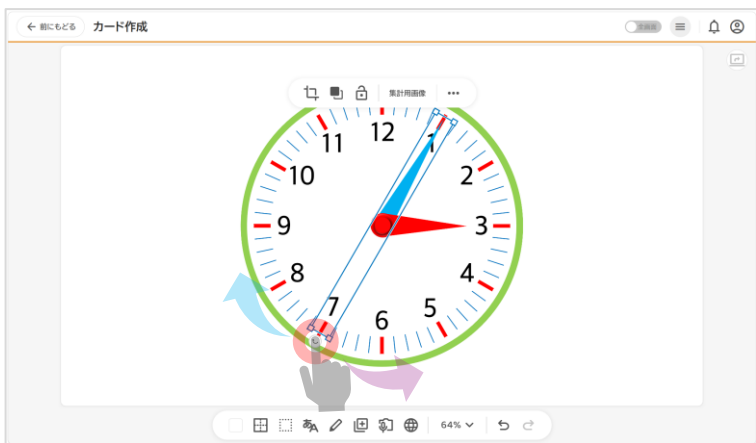
1. 時計の中に配置された長針または短針の図形をクリック



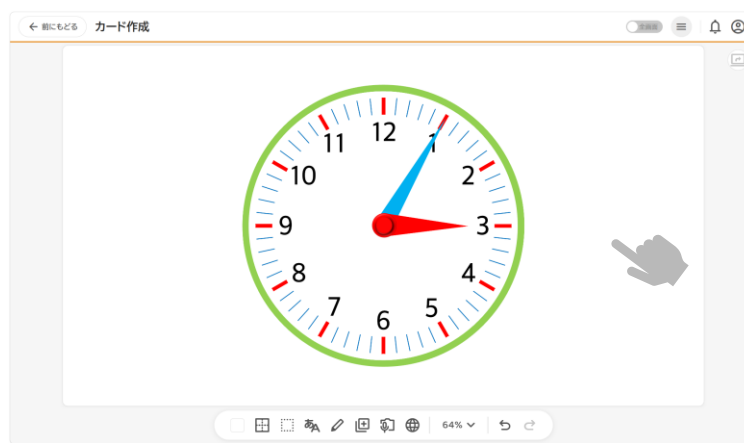
2. 針の先と反対に現れる矢印が中にかかれた丸いマークを操作して針を回転させる



3. 丸い矢印を時計に沿って操作して、針を回転させる



4. 時計の図形以外の場所をクリックすると選択解除



## 操作のポイント

丸い矢印以外を動かすと、図形全体が伸縮したり、大きさや位置が変わってしまいますので、注意してください。  
図形が動いたり壊して修復できないときは、もう一度カードBOXから出して、何度でもご利用お試ください。